

12月定例会 総括質問

主な質問と答弁

鈴木 晴男 議員

市長に問う 「新庁舎建設事業」

問 市役所新庁舎の建設では、汚染土壌の処理に関する予算の補正など多くの問題がある。内容を時系列で市民に示すべきではないか。

市長 当初予算を平成24年3月の市議会定例会で減額したが、具体的な内容が伝わらず申し訳なかった。この経過はしっかり残していきたいと思う。

競輪場の施設整備

問 平塚競輪場のメインスタンドの設計委託に補正予算が計上された。この規模の発注を行う場合は主にプロポーザル方式が用いられるが、今回はどのような方式をとるのか。また、最低制限価格や入札参加資格の

公明ひらつか

設定が必定と思うが見解は。公営事業部長 プロポーザル方式は考えていない。メインスタンドはスポーツ施設として特別なものではなく、また施設の機能面でも基本計画の段階でコンサルタント業者の協力を得て方向性が出ているため、別の事業者から提案を受ける必要性は少ないと考えている。

行財政改革実施計画「協働経営プラン」
問 行財政改革の柱として考えられる要素には、新たな歳入の確保、歳出の削減、職員定数の適正化、未収金の削減などがあろうが、財政健全化の喫緊の課題である。また市税では、公平性の原則に基づき、高額滞納者を専門に対応する職員を置き、未収金の削減に取り組み。また任期付き短時間勤務職員を採用して困難な事業の削減などがあるが、本市の自立運営を復活させるために、それぞれの考え方と具体的な取り組みを聞く。

企画部長 職員定数の適正化については、事務事業のシエイブアップや仕事のメリハリの向上に取り組み、また民間にできることはアウトソーシングを進める。人件費の削減は、財政健全化の喫緊の課題である。また市税では、公平性の原則に基づき、高額滞納者を専門に対応する職員を置き、未収金の削減に取り組み。また任期付き短時間勤務職員を採用して困難な事業の

永田 美典 議員
組織改正について
問 平成25年4月に市の組織改正を行う理由は何か。

総務部長 組織が大きくならず、機動性を損なう部署が発生したためである。

問 公共ファシリティマネジメントの視点から本市が目指すものは何か。

総務部長 市の施設を戦略的かつ適正に管理・活用すること、健全な財政運営に寄与する。その第一歩として、施設再編計画の策定に取り組む。

景観行政

問 平塚駅から北へと続く駅前大通り（フエスタロード）の整備を加速すべきではないか。

まちづくり政策部長 交通の視点や地域活性化を含め、総合的な検討が必要である。

問 平塚駅周辺のパーキングメーターの方向性は、まちづくり政策部長 コインパーキングの利用率が5割を超えており、廃止も視野に入れて検討していく。

非構造部材の総点検

問 教育施設の非構造部材の総点検で得た結果をどのように活用していくのか。

総務部長 早急に対策が必要

早期解決を進めるとともに、複数の不動産公売を進めている。

平塚市環境基本計画

問 第3期事業計画素案で「生物多様性の取り組み強化」と「地球温暖化対策の強化」が示された。生物多様性については「生物の多様性に関する条約」第9条と第14条の観点から大事である。これに対する本市の考え方を示してほしい。

環境部長 生物多様性に著しい悪影響を及ぼすものとして、地球温暖化が考えられる。「生物の多様性に関する条約」の趣旨や、国、県の施策および地域特性を踏まえた戦略を策定したい

小笠原 千恵美 議員
放課後児童クラブと指定管理者の選定
問 放課後児童クラブにおける指定管理者選定の基本的な考え方を伺う。

健康・こども部長 公募が原則だが、保護者が運営する放課後児童クラブは経過や実績があることから公募は行っていない。

問 保護者会による運営の課題を伺う。また、負担の軽減に向けた考えはあるか。

健康・こども部長 事務処理の煩雑さが課題となっており、簡略化を図っている。

学校における安全対策

問 他市の生徒が柔道の授業中の事故で「脳脊髄液減少症」になったとの報告があるが、教育現場の対応は、**学校教育部長** 県の教育委員会から送られたリーフレットを全中学校に置き、安全の啓発に努めている。

平塚市の幼保一元化

問 幼稚園と保育園では運営方法が異なるが、すり合わせをどう考えているか。

健康・こども部長 今後モデルケースを進める中で相違点を整理し、認定こども園のメリットを生かせる方法を検討する。

問 平成25年度中に保育二一ズ調査を実施するか。

中学校給食

問 中学校給食の実現について、管理面や給食環境の問題など多くの課題があるが、これらを総括して教育長の見解を伺う。

教育長 施設の整備や大規模改修は多額の財政負担を伴うが、学校給食検討委員会の報告を待ち、教育委員会の中でさまざまな視点から検討していきたい。

曲都市建設常任委員会

議案10件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

◆主な質疑
○議案第77号「平塚市屋外広告物条例」
問 市が積極的にまちの景観を守っていくという趣旨だが、今後、違反広告が積極的に撤去していくのか。
答 効果が目に見えて分かるような取り組みを進めて、良好な景観につなげていく。具体的には、パトロー

常任委員会の議案審査の概要

るまで構造計算されており、基本的にJIS規格のものを使っているため、本市独自の基準を設けても対応する製品がない。統一された下水道用の管を使っているため、独自性を出すのは難しい。

○議案第95号「平成24年度平塚市一般会計補正予算」
問 秦野中井インター・平塚アクセス道路整備促進事業について、この時期に市町村広域行政助成事業助成金を受けることになった経緯を伺う。
答 秦野市、中井町、本市の3市町で平成21年7月から検討会議を設置し、道路の必要性やルートを検討を行ってきた。平成23年度末に(財)神奈川県町村振興協会から平成24年度の市町村広域行政助成事業の照会があったので、秦野市、中井町と早急に調整して今年7月に交付申請し、8月に交付決定となった。

教育民生常任委員会

健康・こども部長 予算を計上し、実施したい。
問 「子ども子育て会議」委員の選定について伺う。
健康・こども部長 趣旨に沿って、幅広く意見を得られるよう対応する。

学校・家庭・地域のネットワーク
問 本市で家庭や地域と学校が協働して取り組んでいる事業は何か。
学校教育部長 PTA活動や学校評議員のほか、児童生徒の問題行動の防止を目的とした事業を行っている。
問 学校と地域の「教育力」を調整する人材が必要ではないか。
学校教育部長 地域団体に役割を担っていただいております。統一的に配置することはない。

議案4件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。また請願2件を審査し、いずれも趣旨採択とすべきものと決定しました。

◆主な質疑
○議案第92号「指定管理者の指定について（平塚市聖苑）」
問 指定管理候補者の選定評価において、この管理者

の管理運営費に関する項目の評価が低いのはなぜか。
答 この管理者はこれまで5年間継続して業務を行っており、その間に大幅に運営経費を削減している。これ以上の削減は難しいため評価点数は伸びなかったが、今後も施設の指定管理者と連携をとって運営コストの削減をさらに進めていきたい。